

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	日々の利用者の関わりのなかで、いつ、どのような事が身体拘束となるのかなど、職員間で話し合い、勉強会の場を設け全職員間で、身体拘束に対する認識が統一できるよう期待したい。	体を縛る、閉じ込めるなどの目に見える身体拘束以外の拘束についても理解し、あらゆる拘束が存在しない施設づくりを目指す。	1. 勉強会を設け、拘束についての理解を深める。 2. 拘束に値する行為が見られた場合は、職員間でも注意しあえる環境を整備する。	6ヶ月
2	4	テーマや具体的な課題をもとに話し合うことで、報告や情報収集にとどまらず、具体的なサービス向上に活かしていくことを期待したい。	松風の現状を理解し、さらなるサービス向上についての意見交換ができるようにする。	1. 実際の入居者の生活状況を見ていただき、問題点の抽出を行う。 2. 他の施設の情報を発表していただき、松風に活かせる内容を検討する。 3. 事前に議題を決め、当日その議題について意見交換ができるようにする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。